



新田 勝見 議員

一問一答方式

市長の考える 永遠の日本の ふるさと遠野とは

市長 アイデンティティですね

問.....

地区センターの指定管理を始め、今年度は行政区合併、消防団再編も行われ、小さな拠点づくりが進められ、自治会活動も大きく変わった。交付金のもと、地域住民の創意と工夫で地域づくりをしていくことになる。

答(市長).....

私には、役所に入りその後東京に行ってきたので遠野は永遠の日本のふるさとであった。遠野のアイデンティティである。これからは、皆さんとドンドン話し合い、どのような解決方法があるのか、次の時代をつくっていくことになる。



学んで 行動する 議会へ

市政調査会

調査日 令和4年5月24日
参加議員 18名

ふるさと商社の改革について

遠野市観光の面的活性化を目的に、観光遺産産業化ファンドの支援を受けて、地域活性化支援機構（REVIC）（レビック）が地域金融機関等と連携し、同商社の経営改革と併せて観光推進活動に取り組んでいる。遠野のヒト、モノ、歴史文化を織り交ぜ地域を元気にするために、これまでの経営分析と新しい経営に取り組んでいる現状を、杉村シニ

アマネージャーから聞いた。委員からは、新しい経営改革を進めてほしいとの声もあり、遠野市議会として、今後も商社経営に注視していきたい。

オンライン会議の講習

タブレット導入等検討特別委員会から、オンライン会議について、システムZoomについて説明を受けて実際に体験をした。オンライン会議が活用できれば非常に簡単に会議ができ便利だと感じた。

「重文千葉家」の工事の状況について

文化課と市民協働課から説明を受け、その後現地に移動。千葉家は3階建ての土蔵と馬屋の間にあった便所も文化財に指定、本年度は主屋のかやぶき屋根工事を実施し、すべての工事が完成するのは令和9年度で、令和10年度にグラウンドオープンということであった。



「達磨部中斉ふれあいセンター」の現状について

建設から29年が経過し雨漏り2カ所を確認した。管理は地元自治会が行っている。ふれあいセンターは雨漏りのため電気、水道は使えない。しかし、施設本体はまだ利用できる状態であるため、雨漏りの原因を特定し修繕を進め、利活用を図る必要があると感じた。

会長 照井 文雄



政務活動費を公表します

令和3年度政務活動費執行状況 (令和3年4月～令和4年3月)

議員の調査研究活動のために交付される「政務活動費」を下記のとおり公表します。交付額は1人につき60,000円(月額5,000円)で、執行率は70%でした。

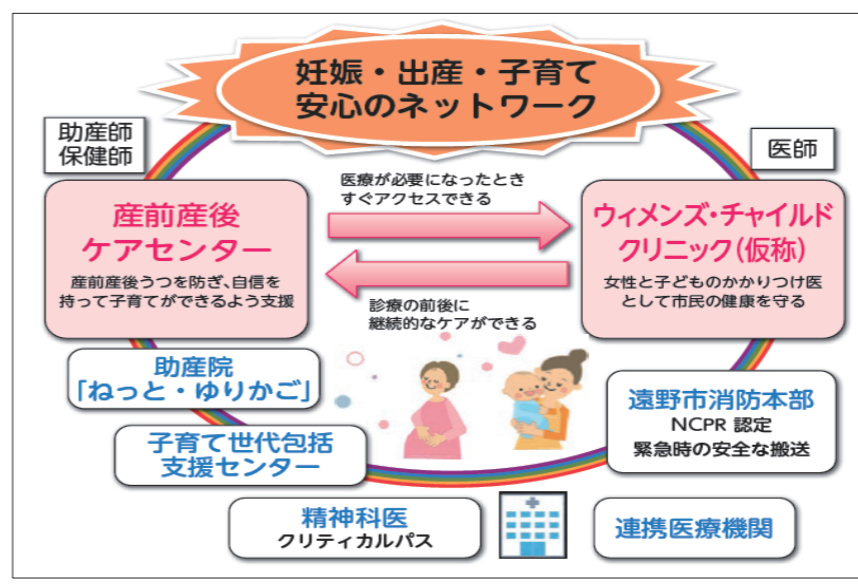
議員氏名	交付額	調査研究費	研修費	広報費	会議費	資料作成費	資料購入費	支出合計	政務活動費分執行額	執行率
1 小松正真	60,000	6,288			3,240	37,365		46,893	46,893	78%
2 佐々木恵美子	60,000	1,260					19,800	21,060	21,060	35%
3 菊池浩士	60,000		5,000			29,618	20,400	55,018	55,018	92%
4 佐々木敦緒	60,000			66,000		5,280	33,456	104,736	60,000	100%
5 佐々木僚平	60,000					32,253	33,000	65,253	60,000	100%
6 小林立栄	60,000		7,490			10,002	22,770	40,262	40,262	67%
7 菊池美也	60,000	1,616	25,930			972	12,276	40,794	40,794	68%
8 萩野幸弘	60,000		58,700			1,790		60,490	60,000	100%
9 瀧本孝一	60,000		3,000			21,500	67,348	91,848	60,000	100%
10 多田勉	60,000						37,416	37,416	37,416	62%
11 菊池由紀夫	60,000					2,852	40,887	43,739	43,739	73%
12 菊池巴喜男	60,000	5,863				21,500	38,211	65,574	60,000	100%
13 照井文雄	60,000	2,203	5,000			47,685	17,331	72,219	60,000	100%
14 荒川栄悦	60,000							0	0	0%
15 安部重幸	60,000							0	0	0%
16 新田勝見	60,000							0	0	0%
17 佐々木大三郎	60,000		2,152			51,863		54,015	54,015	90%
18 浅沼幸雄	60,000						62,767	62,767	60,000	100%
合計	1,080,000	17,230	107,272	66,000	3,240	262,680	405,662	862,084	759,197	70%

「政務活動費」は、議員の調査研究、研修や市政の課題及び市民の意思を把握して、市政に反映させる活動に充てられますが、交付額を超過して支出した場合は自己負担となります。なお、残額320,803円については、遠野市に返還しました。

産婦人科が絶対必要と思うが

市長 諦めずにチャレンジする

問.....
5月17日の日報紙にSMC遠野に新工場、部品供給21社入居へとあり、2025年には本格稼働するとの報道があった。地元を含め430人程度の雇用の見込み、遠野エリアに一大部品供給用地を構築するようである。市にとっては喜ばしいことであり、若者の定住、定着へと夢が広がる。「子育てするなら遠野」を実現することが大切である。しかし、産婦人科医がいらないのは致命的なことであり、市内での出産はできない状態である。産婦人科、小児科の招へいに対する考えは。



答(市長).....
ウイメンズチャイルドクリニックに向けて取り組むことになるが、実際のところ産婦人科医3人、小児科医3人の計6人が必要になる。予算は約2億5千万必要になる。取り組み方法を考えながらチャレンジする。